

ユダの手紙

著者はイエスを裏切ったイスカリオテのユダではなく
福音書に記されているようにイエスの4人の兄弟のうちの一
人のユダです
イエスの兄弟たちは
彼が死ぬ前は誰一人としてイエスをメシアと信じてい
ませんでした
死からよみがえったのを見て弟子になりました
イエスの兄弟たちはみな
初代のユダヤ人クリスチャン教会の指導者になりま
したが
ユダはあちこちを巡回して教える宣教師として知ら
れています
そしてそれがこの手紙を書く目的の背景になっ
ています
ユダがどの教会に宛ててこの手紙を書いたのかはわ
かりませんが
それはほとんどがユダヤ人だった教会と思えま
す
というのもその書き方が旧約聖書
また他のユダヤ文学に精通している人を想定して
いるからです
ユダはこの教会が直面している危機に気づき
それがこの書の構成にも現れています
まずこの教会への強い勧めを記し
次に彼らに影響を及ぼしている偽教師たちに対
する警告と非難が続きます
そして最後はこの教会がどういう行動を取るべ
きかを勧めて終わります
ユダはまずこの教会に真の信仰のために戦うよ
うにと勧めています
彼はメシアを通して与えられた救いについて
もっと長い手紙を書くつもりでしたが
この教会について緊急の知らせが入ったので
その予定を遅らせたと言っています
そしてその代わりに短いけれども思慮に満
ちたこの手紙を書いたのです
彼はどのように戦うかではなくなぜ戦うべき
なのかということから書いています
それはこの教会に入り込んでいた偽教師
たちのためでした
彼らの教えというより彼らの生き方その
ものが問題でした
その墮落した生き方は彼らの神学が間違
っていることを物語っていました
彼らは神の恵みを罪を犯す許可であるか
のように曲解しました
自分たちは赦されていて神の霊を持
っているのです
お金についても性的なことについても
何でも好きにしていると主張しました
イエスの権威や教えを否定する彼らは
イエスを裏切っているのだとユダは言
いました
このような偽教師たちが現れることは
意外ではないと教え
彼らと距離を置くようにという長い警
告を書き始めます
まず最初に旧約聖書からの3つの例
が2組挙げられています
最初の3つは神に反逆して裁きを受
けた人たちの話です
荒野で神に逆らったイスラエル人
は
望んだ通り約束の地にたどり着くこ
となく荒野で死にました
次に神に反逆したために裁きが下
るまで暗闇に閉じ込められた
御使いたちの例をあげていますが
これは有名なユダヤ文学の第一エ
ノク書にある
創世記6章の解釈を引用しています
ここでは神の子を神に反逆し
女性たちと性的な関係をもって裁
かれた御使いたちとして解釈され
ています
彼はこの話を三つ目の例
つまり御使いを犯そうとした男
たちのために滅ぼされたソドムと
ゴモラについての
創世記の話と結びつけていま
す

これらは両方とも神の秩序に反逆し性的な不道徳に陥った者の話で
偽教師たちはまさにそれと同じことをしていたのです
ユダはさらに当時よく読まれていた
ユダヤ文学のモーセの遺訓からも例を挙げています
エノク書と同じようにこれは旧約聖書の一部ではなく
申命記に基づいてモーセの最後の様子や言葉を創作的に描いたものです
ユダが引用したのはモーセの死後
良い御使いのミカエルがモーセを非難する悪魔に反論しつつも
最後の裁きを神にゆだねた箇所です
現代の読者にはなじみのない話かもしれませんが
これらの文学を読んで育ったユダヤ人たちには
ユダが何を警告しているかがよく理解できました
神への反逆性的不道徳
神からの使いを拒絶するという偽教師たちの行いは昔からあったことなのです
このことは次の3つの例にも関連しています
どれもほかの人々を墮落させた反逆者たちの話なのです
カインは弟を殺しその後暴力が支配する街を建てました
呪術師のバラムはイスラエルを呪うことはできませんでしたが
彼らを偶像と性的墮落の誘惑にさらしました
そしてレビ人のコラはモーセへの反逆をけしかけ民の上に災いを招きました
ユダは続けて旧約聖書から
エゼキエル書の自己中心の羊飼い
箴言の雨を降らせない雲
イザヤ書の荒れた海の波などと
立て続けに例に挙げて偽教師たちになぞらえます
彼らはイエスに従っていると言っていますが
彼らの強い自己愛がそれを否定し行く先々で人を混乱に陥れているのです
ユダはこの警告を古いものと新しいものの
2つの別の警告を引用して締めくくっています
古い方はまた第一エノク書からで
創世記に登場するエノクが見た幻が記されていると言われていました
興味深いのはユダはエノク書の最初の章を引用しているのですが
そのエノク書自体は主の日に神が悪を裁くことについての
旧約聖書の6つの文章を引用していることです
ユダはエノク書の昔の警告を最近の使徒たちの警告と一緒に紹介しています
ペテロヨハネパウロは偽教師たちが現れ
福音をねじ曲げるだろうと予告していましたが
それはイエスが先に言っていたことだったので
ですからこの教会に対する警告はこれでもう十分でしょう
偽教師問題に対処しなければならないことは明らかです
それからユダは締めくくりの勧めに移ります
彼は信仰のために戦うように述べた最初の箇所を取り上げ
巧みな隠喩を使ってその戦い方を教えます
イエスの教会を神の新しい神殿にたとえ
最もきよい信仰の上に自分を築き上げるようにと言っています
これは私たちを罪から救うためのイエスの生涯と
死とよみがえりについての良い知らせのことを指しています

この礎の上に教会は祈りに励み
神を愛し従うことに専念して建て上げられていくのです
そしてこの教会の高潔さはイエスが再び来られ
正義と憐れみをもたらすことを常に意識し続けることによって保たれるのです
またそうすることで互いに励まし合ってイエスへの信仰に留まることができます
最後にユダは民がご自分の恵みから離れ去ることのないように
守ってくださる神をほめたたえてこの手紙を閉じています
この短いユダの手紙は力強い書物ですが
現代の読者にとっては謎めいています
ユダはなぜ旧約聖書の一部と見なされていない
第一エノク書やモーセの遺訓から引用しているのでしょうか
この時代のユダヤ人にとって
このような宗教的な書物は生活の大きな一部だったので
イエスも彼の家族もみんな旧約聖書と
それに影響を受けた後の時代の書物の両方を読んで育ちました
これらの書物は聖書の一部として認められるべきかという議論が昔からありました
どちらにしるこれらの書物は重要であり
聖書に加えられていなくても神の民に大切なメッセージを語ることができます
これらの書物は現代では外典もしくは第二正典として知られていますし
そのほかに偽典もあり
これらはすべてユダヤ教やキリスト教の集会の中で昔から読まれ重要視されてきました
これらはもともと旧約聖書の一部として書かれた書物ではありませんが
聖書の伝統に基づく書物と言えます
だからこの手紙を受け取る人々が
第一エノク書などの価値を認めていることを知っていたユダは
彼らにわかるようにこの書を用いてこう伝えたのです
イエスを通して与えられた神の恵みは単に理解して同意するだけでなく
人生のすべてをかけて応答すべきものである
ユダは偽教師たちの神学を批判することはせず
イエスを否定する彼らの不道德な生き方に焦点を当てています
イエスが弟子たちに語られた言葉をこの状況にあてはめているのです
私を愛する者は私の教えに従うクリスチャンにとっては生き方こそが
その人が信じていることを本当に表しているのです
これがユダの手紙です

【要約】

ユダは、イエスを裏切ったイスカリオテのユダではなく、イエスの兄弟の一人であることが強調されています。彼の手紙は、ユダヤ人クリスチャン教会に宛てられたもので、偽教師たちに対する警告と非難が含まれています。ユダは、偽教師たちの堕落した生き方とその教えが問題であり、彼らは神の恵みを誤解し、イエスを否定していると主張します。ユダは古代の聖典や文学からの例を引用して、偽教師たちの行動を警告し、その罪悪を強調します。最終的に、ユダは真の信仰のために戦うように勧め、信仰を高め、互いに励まし合うように奨励します。この手紙は、偽教師との闘いと信仰の重要性に焦点を当てています。